

古文 練習問題 ① 『枕草子』

次の『枕草子』の一節を読んで、あとの問いに答えなさい。

夏は夜。月の頃はさらなり。やみも(1)なほ、ほたるの多く飛び(2)ちがひた
る。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くも(3)をかし。雨など降る
もをかし。(『枕草子』第一段)

一、(1)～(3)を現代かなづかいになおしなさい。

(1) () (2) ()

(3) ()

二、(3)「をかし」の意味とともっとも適切なものを次から一つ選びなさい。

① あやしい

② 興味深い

③ 笑いたくなる

④ 悲しくなる

三、『枕草子』の作者を次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 光源氏 イ 和泉式部 ウ 清少納言 エ 紫式部

()
()

答え

- 一、(1) なお (2) ちがいたる (3) おかし
- ニ、②
- 三、ウ

解説

歴史的かなづかいの原則

は・ひ・ふ・へ・ほ わ・い・う・え・お

ゐ・ゑ・を い・え・お

ぢ・づ じ・ず

む ん

例 やむごとなく || やんごとなく

くわ・ぐわ か・が

例 くわじ || かし えいぐわ || えいが

ア段十う(ふ) オ段十う

例 まうす || もうす

イ段十う(ふ) イ段十ゆう

例 うつくしう || うつくしゆう

エ段十う(ふ) イ段十よう

例 せうそく || しょうそく